

学校と教育制度の変遷 その1

～ 下広川小学校が創立 150 年 ～

「学制」と村落小学

明治4年（1871年）廃藩置県が行われて、中央集権国家の基礎ができました。政府は教育行政の府として、文部省を設置（同5年7月18日）します。積極的に国民教育の責をも担った文部省は、欧米の教育制度を調査研究の上で、「学制」の起草にとりかかります。

「学制」は同5年8月2日に、「学事奨励ニ関スル被仰出書」が、太政官から布告され、翌3日に文部省の布達によって「学制」が、全国に頒布されました。そこには、（前略）身ヲ修メ智ヲ開キ才芸ヲ長スルハ、学ニアラサルハ能ハス、是レ学校ノ設ケアル所以ニシテ（中略）自今以後一般ノ人民、必ス邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス（中略）人ノ父兄タル者、宜シク此意ヲ体認シ、其愛育ノ情ヲ厚クシ、其子弟ヲシテ必ス、学ニ従事セシメサルヘカラサルモノナリ（以下略）。

といった文言が連ねられています。

三瀨県（同4年11月14日に久留米県から変わった）では

「学制」頒布を受けて、村落小学設置の動きが出ます。現在の広川町で、一番早く設置された小学（この時点では未だ、小学校とはいいません）は、知徳小学（同6年5月13日、知徳村に設置）だったことが、『福岡県教育百年史』に所収の、三瀨県学事報告によって知ることができ

ます。

翌7年になると、現在の広川町では、甘木小学・吉常小学・六田小学・長延小学・扇島小学・清楽小学・川瀬小学・藤田小学・一條小学・太田小学・小椎尾小学（当時は横山村）など、11か所に村名を冠した小学が設置されています。開設当時の様子について、

中広川尋常高等小学校「郷土讀本（昭和7年）」に、次のような記述がみられ一部を抜萃しますと、

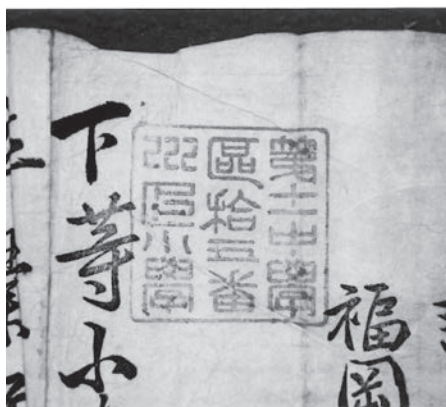
学校といつても名ばかりで、庄屋様の内に十脚余りの机を並べた、疊敷のうす暗い室で、先生がお一人で手習いや読書を、膝のしびれをこらえて習った。

のようにあります。これは川瀬小学の話ですが、どこも似たような状況だったのではないのでしょうか。

今年、下広川小学校が創立150年

下広川小学校は、知徳小学開設を、創立元年としていて、昭和49年（1974年）に創立百周年式典を催行しています。

この時点ではまだ、開設が1年早かったという事実は分かっています。『川町史』の編さんに係る調査で判明したことです。現在では校内に掲示の年表などにも、明治6年（1873年）と改められています。



▲第十一中学区十五番川上小学印

広川町古墳資料館だより

4月9日(日)の9時～15時に弘化谷古墳の一般公開を行います。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年以降中止していたため、3年半ぶりの再開になります。

石屋形の内壁には、双脚輪状文や同心円文など、特殊な文様が濃い赤・うすい赤・緑（岩の地色）の3色で描かれています。春は文様が特によく見える季節です。ぜひ、見学にお越しください。



▲装飾壁画一般公開の様子

広川町立図書館へ行こう!

☎ 0943-32-1163 広川町立図書館



■ 今月のおすすめの本



悪魔の傾聴
中村淳彦 / 著
飛鳥新社



老いはのどからやってくる
宮本隆治 / 著
サンマーク出版



カモフラージュ
スティーブ・パーカー / 著
東京書籍



日本全国日本酒でめぐる酒蔵 & ちょこっと御朱印 西日本編
地球の歩き方編集室 / 編集



ムラヨシマサユキのパン教室
ムラヨシマサユキ / 著
西東社



無人島のふたり
山本文緒 / 著
新潮社



ホロヴィッツホラー
アンソニー・ホロヴィッツ / 作
講談社



保護ねこ活動ねこかつ!
高橋うらら / 著
岩崎書店



トイレにいいですか
寺村輝夫 / 作
あかね書房



お月さまになりたい
三木卓 / 作
偕成社

■ プチシアター「東京リベンジャーズ」

タケミチの元恋人、ヒナタが殺された。事件を知った翌日、タケミチは駅のホームから転落、目覚めた先はなんと10年前。タケミチは弱虫だった“過去”の人生にリベンジし、“今”を変えられるのか? 出演:北村匠海、ほか。



- 日時 4月29日(土)・(祝)、14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)
- 場所 町民交流センター「いこっと」2階大研修室
- 定員 80人
- ※一般向け (R 指定 PG-12) ・ 入場無料 ・ 予約不要

■ 4月のおはなし会 [場所・読み手]

- 1日(日) 10:30 ~ 11:00 児童向け [お話しの森・きらら]
- 12日(木) 10:30 ~ 11:00 乳幼児向け [かっちんこ] [お話しの森・絵本コンシェルジュ]
- 16日(日) 10:30 ~ 11:00 児童向け [お話しの森・たまてばこ]

やっぱり図書館へ行こう!

vol.37 電子図書館が始まりました

図書館の様子や仕組みをお伝えします

広川町立図書館では、3月から電子図書館を始めました。電子図書館とは、スマートフォンやタブレット端末で読める「電子書籍」を町立図書館ホームページから提供するものです。インターネットの環境があれば、家にいながらいつでもどこでも「電子書籍」を借りて読むことができます。

利用にはID(利用者カードの番号)と初期パスワード(生年月日)が必要です。利用者カードをお持ちの方は、町立図書館ホームページから電子書籍をご利用ください。



■ 4月の休館日

- 3日(月)・6日(木)・10日(月)・17日(月)・24日(月)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝日の場合は翌以降の直近の平日が休館